

お知らせ

- 平成14年4月・研究職（選考採用）募集のお知らせ
- 青少年のための科学の祭典茨城大会2001参加
- 森林講座第8回開講のお知らせ
- 平成12、13年度各賞受賞者リスト

○平成14年4月・研究職（選考採用）募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、標記研究職の募集を行っております。
選考採用は国家公務員1種試験では選任者が得られない特別の知識、能力または技術を必要とする官職について、優秀な人材を採用するために進めているものであり、今回の採用予定研究職、応募条件、選考採用試験要領は下記の通りです。

1 採用予定の試験研究機関、採用予定研究員・級及び研究キーワード

別表の通り

2 応募条件

- (1) 大学院博士課程修了者又はこれと同等以上の学識を有する者で、年齢42歳未満の者。
- (2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者。

3 提出書類

- (1) 履歴書（高等学校卒業以降を記入）
- (2) 大学学部以降の卒業（修了）証明書、成績証明書及び博士の学位授与証明書
- (3) 研究業績目録（主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）

選考採用予定場所一覧表（平成14年4月1日付採用）

No.	場 所 名	部 室 名	役職・級	研究キーワード
1	森林総合研究所	生物工学研究領域 形質転換研究室	研究職 研究職俸給表 2級又は3級	組織培養 針葉樹 遺伝子組換え
		広葉樹及び針葉樹の組織培養による個体再生技術に関して専門的知識、能力、技術又は豊富な経験を有し、遺伝子組換え樹木の作出に意欲のある者（1名）		
2	森林総合研究所	生物工学研究領域 形質転換研究室	研究職 研究職俸給表 2級	遺伝子組換え 導入遺伝子解析 組換え体の安全性評価
		遺伝子組換え植物において導入遺伝子の発現等の解析に関して専門的知識、能力、技術又は豊富な経験を有し、組換え樹木の安全性評価に関する研究に意欲のある者（1名）		
3	森林総合研究所	成分利用研究領域 木材化学研究室	研究職 研究職俸給表 2級	ダイオキシン 環境ホルモン LCA 木質廃材 ケミカルリサイクル
		リグニンの反応機構に関する専門的知識、能力、技術又は豊富な経験を有し、樹木成分からのダイオキシン生成機構の解明及びその分析に意欲のある者（1名）		
4	森林総合研究所	林業経営・政策研究領域 林業動向解析研究室	研究職 研究職俸給表 2級又は3級	林産物需給 計量経済学 政策シミュレーション
		計量経済学及びコンピュータ・シミュレーションに関する専門的知識、能力、技術又は豊富な経験を有し、日本を含む世界の林産物需給・貿易モデルの開発に意欲のある者（1名）		

○青少年のための科学の祭典茨城大会2001参加

去る11月18日（日）、茨城大学附属小学校体育館で、第2回青少年のための科学の祭典茨城大会2001が開催されました。このイベントは、茨城県内の小・中・高校生を対象に、科学の楽しさ、大切さを理解し、科学への親しみを深めてもらうことを目的に、茨城県内の研究機関・学校・一般企業・各種団体などが、来場者が実際に体験できる科学実験、展示などを行うものです。



○森林講座第8回開講のお知らせ

多摩森林科学園内の「森の科学館」では「森林講座」を開講しています。これは、森林総合研究所の研究成果を、研究者が一般の方々に分かりやすいレクチャーするものです。平成13年度森林講座の第8回目（最終回）は、平成14年1月22日（火）に開催いたします。参加費は無料です（ただし入館料300円）。どうぞお気軽に多摩森林科学園までお問い合わせ・申し込み下さい。

タイトル：古くて新しい木造建築のお話

-現代でも解明しきれない伝統的な木構造-

木材の特性と日本の環境から形作られてきた伝統的な木構造の仕組みを皆さんと考えてみましょう。

講師：軽部 正彦（かるべ まさひこ）

構造利用研究領域 主任研究官

日時：平成14年1月22日（火） 13:15～15:00

場所：多摩森林科学園 森の科学館

Tel. 0426-61-0200

〒193-0843 東京都八王子市甘里町1833番81号

交通：JR中央線・京王線 高尾駅下車徒歩約10分

4 書類提出先

〒305-8687 茨城県稲敷郡星崎町松の里1番地
独立行政法人森林総合研究所 総務部総務課人事係

5 応募締切

平成14年1月31日（木）（必着・締切日厳守）

6 選考採用試験

- (1) 書類審査 平成14年2月上旬
- (2) 面接試験 平成14年2月下旬（予定）

7 採用時期

平成14年4月1日

8 問い合わせ先

三宅（総務課課長補佐）・海老原（人事係長）

Tel. 0298-73-3211 内線262・264

E-mail ymiya@ffpri.affrc.go.jp

E-mail ebihara@ffpri.affrc.go.jp

当所は、開催第1回目から参加しており、今年は「木の温かさ」をテーマに展示・実験を行いました。木材と鉄を触って違いを確かめてもらったり、手の熱が触っているものによって変化する様子をサーモグラフィで見てもらったりなど、体験型の内容に加え、解説（ネルの展示とパンフレットの配布などを行い、大勢の方が立ち寄られて大変好評でした。構造利用研究領域の末吉チーム長による説明に多くの人が関心を寄せて下さり、盛んに質問などが交わされていました。

この場を借りまして、出展にご協力下さいました関係各位にお礼を申し上げます。

申し込み方法

往復はがきに、講座名「古くて新しい木造建築のお話/1月」、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお書きの上、下記宛先へお申し込み下さい。申し込みの受付は1月8日（必着）までです。

申込先・問い合わせ先

〒193-0843 東京都八王子市甘里町1833番81号

多摩森林科学園 Tel. 0426-61-0200

○平成12、13年度各賞受賞者リスト

受賞の名称	受賞年月日	受賞者所属	受賞者	論文名（業績名）
文部科学大臣賞 (研究功績賞)	平成13年 4月18日	海外研究領域	沢田 治雄	森林モニタリング技術実用化の研究
受賞内容		衛星リモートセンシングデータを用いて、森林環境を長期にモニタリングするための標準化法を開発するとともに、森林資源量を把握して供給可能量を算出する手法の開発や、森林火災早期発見システムなどの開発研究を行った。これらによって、衛星による森林モニタリング技術の実用化を推進された。		
日本林学会賞、 土井林学奨励賞	平成13年 4月3日	植物生態領域 樹木生理研究室	石田 厚	熱帯樹種の強化・高温に対する生理的・形態的防御機構
受賞内容		葉に強化が与えられた光合成速度が低下し、これは光阻害と呼ばれている。このような光阻害は、樹冠木が突然倒れた時にしばしば見られる。この研究では、進化的な観点から見て、成熟した葉が生理的に強い強い葉を置いたり、形態的な特性によって光阻害から守っていることを明らかにした。		
日本林学会賞	平成13年 4月3日	立地環境研究領域 地帯研究センター	太田 誠一	東南アジア熱帯雨林の土壌特性と森林荒廃に伴う変化に関する研究
受賞内容		インドネシアの低地フタバノキ林地帯では土壌の多量な腐植体層を有する腐植体土壌であることが解明すると共に、森林の荒廃・荒廃に伴う土壌腐植体層の変化を明らかにすることで、アジア熱帯雨林の持続可能な管理と荒廃地の修復・利用のための科学的根拠が提示された。		
第39回林業科学技術振興賞 (研究奨励賞)	平成12年 5月29日	木材改質研究領域 木材保存研究室	源田 寿郎	木材の燃焼性および耐火性能に関する研究
受賞内容		木材の燃焼性及び耐火性能に関する研究を進め、耐火性能を評価する平均燃焼速度を予測する実験式を提案するとともに、難燃材料の付着基準を数値化するなど材料設計に必要な木材の燃焼特性を明らかにした。この研究は、燃える木材の安全性の確保を明らかにすることによって建築材料としての木材の利用可能性を拡大するものとして高く評価され、今後の研究の発展が期待される。		
セルロース学会 第7回年次大会 優秀ポスター賞	平成12年 7月14日	木材改質研究領域 機能化研究室 成分利用研究領域 セルロース利用研究室	片岡 厚 (代表研究者) 近藤 節男 (共同研究者)	高分解能原子間力顕微鏡(AFM)によるセルロース結晶表面の解析(II)
受賞内容		セルロース学会第7回年次大会における上記の展示発表が、科学的内容および展示方法において特に優れていたと認められ、表彰された。		
科学技術庁 第59回注目発明賞	平成12年 4月17日	木材改質研究領域 機能化研究室	木口 実	耐候性木質材とその製造方法ならびに耐候性木質材を使用した木質構造物(特開平10-309705、特公平12-3049309)
受賞内容		注目発明賞とは、科学技術庁が主催し、国民的に関心を喚起する必要がある発明を選定発表することにより研究開発の優れた成果を一般に知らせ、その実用化を促進し、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを狙いとするもので、森林総合研究所としては初めて選定された。		
森林計画学会賞 (黒岩節郎記念研究奨励賞)	平成13年 4月5日	森林総合研究所北海道支所 天然林択伐研究チーム長	石橋 聡	北方系針広混交林における択伐施策計画 -林分タイプごとの伐採予定量の決定と施策方法-
受賞内容		北海道国有林の天然林指定プロットの長期調査データをもとに、択伐林分の総合的な成長解析を行い、林分の現況、特徴、問題点を分析した。これに基づき、現場への応用をめざし、空中写真で把握可能な択伐林分の樹種タイプ区分と、区分に応じた施策計画、伐採方法及び伐採予定量を決定できる実用可能な方法を提示した。		
文部科学省 創意工夫功労者	平成13年 4月16日	加工技術研究領域	鈴木 茂年	製材用帯鋸の加工に用いる器具の考案
受賞内容		製材技術の高度化に不可欠な帯鋸加工の精度向上に関し、加工用器具や治具の改良を行うとともに、帯鋸への搬入量や荷重り量の測定センサーの取り付け方法を工夫し、さらに搬入ロータリ花力の測定装置を考案作成する等、研究の発展に貢献した。		